

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

強欲な資本主義文明は終焉(その1.「今までのやり方を変える」)

ジェレミー・リフキン (経済社会理論家)

- この200年、西洋文明を中心に、工業化による「進歩の時代」が続いてきた。しかし、化石燃料を土台にした進歩の時代はもはや持続することができず、「地球の再野生化」により、6度の大量絶滅の危機が近づいている。地球の再野生化とは、気候変動などが原因で自然が猛威を振るい、人類の制限が及ばなくなることを意味する。
- すでに熱波や干ばつ、洪水、森林火災が多発し、地球は生物が住めない場所になりつつある。ある専門家によれば、このままでは今の赤ん坊が一生を終えるまでに地球上の生物の約半分が絶滅してしまうという。人類が生き延びるには、今までのやり方を根本から変えなければならない。強欲な資本主義、代議制民主主義に基づく統治機構、自然を利用対象と捉える科学技術…、それらはいずれも「進歩の時代」のプレイブック(戦略集)だ。
- そのプレイブックに基づいて解決策を練ろうとしても、たちまち壁にぶち当たってしまう。ここで必要なのは新たなビジョンであり、そこから生まれてくるのが「レジリエンスの時代」。すなわち、再野生化する地球で生き抜くための新たなプレイブックだ。
(参考:「週刊東洋経済」2023年12月23日・30日号)

ワンポイント経営アドバイス

賃上げに覚悟を込めた経営者の言葉

磯貝 高行(日経ビジネス編集長)

- 2024年の最大のテーマは日本を「普通の経済」に戻すことだと思います。緩やかに物価が上がり、賃金が上がり、消費が上向く。普通に金利があつて、企業は稼いだお金を成長投資に回す。その全てが止まっていた「失われた30年」を脱却する端緒は見え始めています。24年も昨年以来の賃上げが続きます。しかし企業の成長と一体でなければ賃上げは持続しません。経営者はまず成長戦略を描き、構造改革を進め、労働生産性を高めて賃金を上げる。
- 日本製鉄の橋本英二社長はインタビューでこう語っていました。「社長を退任する時に一番こだわったKPI(重要業績評価指標)を聞かれたら、社員の給与をどれだけ増やせたかだと答える」。賃上げに覚悟を込めた経営者の言葉です。

(参考:「日経ビジネス」2024年1月8日号)

経営者のための危機管理

倒産予備軍となるゾンビ企業が急増中

- 2023年の全国の企業倒産件数(東京商工リサーチ調べ)は8690件に膨らんだ。前年比35.1%も増加し、増加率としては1992年以来の高水準に。倒産急増の背景にあるのは、原材料高や人件費の上昇、コロナ禍対策として企業の資金繰りを支えた「ゼロゼロ融資」の返済本格化などである。しかし、これからさらに倒産件数が増える波が来そうだ。
- 新年度に大きなイベントが二つあるため、4月以降は注意が必要になる。イベントの一つ目は、人手不足における「2024年問題」。もう一つは、金融庁がこの春に改正する金融機関向けの監督指針だ。結局は、「2002年に不良債権処理の加速を迫った当時の金融担当相・竹中平蔵、再びだ」。更に気になるのは、「ゾンビ企業」が急増しているのだ。1月29日発売の22年度のゾンビ企業数は、前年比28.1%増の25.1万社だった。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年2月10日号)

古典に学ぶ

動き始めない限りは何も変わらない

- あなたは船を方向転換させるには、必ず推進力が必要だということをご存知でしょうか。どんなに一生懸命、舵を切っても、エンジンをかけて船を前に進めない限り、進めたい方向へは行けないのです。
- つまり、動き始めない限り何も変えられないということです。状況を変えなければ今すぐにエンジンをかけ、まずは行動を開始しましょう。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)